

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----------------------------|---------|---------------------|------------|---|
| 家計 動向 関連 (沖縄) | ◎ | 一般小売店 [酒] (店長) | 販売量の動き | ・インバウンドや国内観光客も戻り、来客数も増えている。 |
| | ◎ | 百貨店 (店舗企画) | 販売量の動き | ・前年は2月20日までまん延防止等重点措置期間だったため、その反動増もあるが、インバウンドの回復が2019年比で1割程度となり、徐々に活気が出てきている。全体的には気温の低下が後押しし、防寒物の服飾等の動向が良い。 |
| | ◎ | 観光型ホテル (企画担当) | 販売量の動き | ・ホテルの11月の販売室数が前年比124%増加なのに対し、2月の販売室数は前年比764%増加とプラス幅が大きくなっている。 |
| | ○ | スーパー (企画担当) | 来客数の動き | ・買上点数は3か月前と比べて大きな変化はないが、来客数がここに来て増加傾向にある。全国旅行支援等もあり来客数が前年と比べても2～3%増えている。 |
| | ○ | コンビニ (経営者) | 来客数の動き | ・夜間の来客数が増えてきている。総菜関係の売上が夕方から夜間にかけて増加している。 |
| | ○ | コンビニ (副店長) | 販売量の動き | ・前月は生活防衛が原因か、来客数、販売量共に下降傾向ではあったが、今月に入り修学旅行生や訪日外国人、プロ野球キャンプのお陰で回復が見受けられる。だが引き続き全盛期といえる状況ではない。また年明けの全国旅行支援クーポンが県内のコンビニ、スーパー等で利用できないのは、事業者もしかり利用者にもマイナスと考えられる。 |
| | ○ | 衣料品専門店 (経営者) | お客様の様子 | ・3か月前と比べると店の周辺などは人通りが多くなってきている。 |
| | ○ | その他専門店 [陶器] (製造) | 販売量の動き | ・卸先からの発注依頼が増えており、来客数が増えているものと見受けられる。 |
| | ○ | 一般レストラン (代表者) | 単価の動き | ・酒を飲む人が少し増えているが、来客数はまだ増えていない。 |
| | ○ | その他飲食 [居酒屋] (経営者) | 来客数の動き | ・例年2月はかなり落ちるが、今年は地元客は例年並みで、地域クーポンを使う観光客の入店が増えている。インバウンドも徐々に増え始めている。 |
| | ○ | 観光型ホテル (代表取締役) | 来客数の動き | ・宿泊については、全国旅行支援や他の施策もあり、観光客も増えてやや良くなっている。料飲部門も予約が増えている。ただし、新型コロナウイルス感染症発生前と比べて70%から80%で、経営状態は良くない。 |
| | ○ | 旅行代理店 (マネージャー) | 販売量の動き | ・全国旅行支援の恩恵は余りないが、今まで行けなかった出張等が増え販売量は増えている。 |
| | ○ | 住宅販売会社 (役員) | 競争相手の様子 | ・売買物件は県外、県内とも客からの問合せが増えている実感がある。同業他社からの問合せも増えている。 |
| | □ | 商店街 (代表者) | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの新規感染者数が少し落ちてきているが、まだ薬が不十分なのが懸念される。良くなっている店舗も少しだけあるとみている。 |
| | □ | 乗用車販売店 (経理担当) | 販売量の動き | ・大規模イベントでの成果がある。 |
| | □ | 通信会社 (営業担当) | 販売量の動き | ・マイナンバーカード申請などで来客数は増えているが、販売数は前年の85%と低い水準になっている。 |
| | □ | 住宅販売会社 (代表取締役) | 販売量の動き | ・建築受注件数が減少傾向にあるものの、取りあえずは前年並みの受注高を維持している。 |
| | ▲ | 家電量販店 (営業担当) | 単価の動き | ・商品価格の値上げが相次ぎ、単価は上昇しているが、購買意欲が低下して来客数が大幅に減少している。結果として売上は減少している。 |
| | ▲ | 乗用車販売店 (営業担当) | 販売量の動き | ・1月の初売りでは前年、前々年より大きく販売台数を伸ばしていたが、2月に入り一気に冷え込んでいる。 |
| × | － | － | － | － |
| 企業 動向 関連 (沖縄) | ◎ | － | － | － |
| | ○ | 食料品製造業 (役員) | 受注量や販売量の動き | ・2月からキャンプも始まり、県外からの観光客も相当増えているようにみられる。インバウンドも同様に目立つようになっている。その影響で業務用及び観光土産向け食材が引き続き増加している。 |

| | | | | |
|----------|---|----------------|------------|--|
| | □ | 窯業土石業（取締役） | 受注量や販売量の動き | ・見積依頼は3か月前と比較すると公共、民間とも若干増加傾向であるが、原材料の価格高騰により収益が低下している。 |
| | □ | 建設業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・資材高騰で、打合せ中の客は契約への決断が鈍っている。 |
| | □ | 会計事務所（所長） | それ以外 | ・観光業においては、全国旅行支援、プロ野球キャンプでの流入人口は増えているが、コスト高に対する売上単価増にタイムラグがあるように見受けられる。 |
| | ▲ | — | — | — |
| | × | — | — | — |
| 雇用 関連 | ◎ | — | — | — |
| (沖縄) | ○ | 人材派遣会社（総務担当） | それ以外 | ・観光客数の増加等で、人の動きが良くなっている。 |
| | ○ | 求人情報誌製作会社（営業） | 求人数の動き | ・当初の予測として、求人数の横ばいか減少を予測していたが微増している。例年3月を求人数のピークとみているが、早期対策として若干前倒しになったため2月が増えたかと推測している。全体的に微増しているものの、物流関連、建設関連の求人数は減少し、一方で医療、介護業界や保育関連、コンビニを主とした流通小売の募集が増加している。新年度に向けた保育士募集や学生アルバイトの卒業時期などの季節要因がうかがえる。 |
| | ○ | 職業安定所（職員） | 求人数の動き | ・求人に関しては人手不足感の高まりもあり、各業種で賃金が上がってきている。 |
| | ○ | 学校〔専門学校〕（就職担当） | 求人数の動き | ・多くの企業が早期に良い人材を獲得しようと早期選考に踏み切っていることで、前年以上に求人数が増えている可能性がある。 |
| | □ | 学校〔大学〕（就職支援担当） | それ以外 | ・観光等の再稼働はあるものの、物価上昇、電気代、燃料費の高騰など生活費が値上がりしており、客の購買意欲にセーブが掛かっている雰囲気がある。 |
| | ▲ | — | — | — |
| | × | — | — | — |